

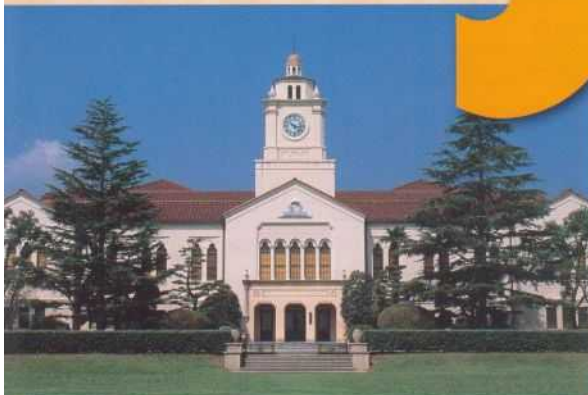
DISCOVER YOUR FUTURE!

# NAVIG

ティーンズのための進路発見マガジン

志望大学にキミをナビゲート

SUCCESS



### 特集

前日程重視傾向、試験日自由選択制度、地方試験…

## 多様化する入試制度

東大生はこうして勝ち抜いた!

東大生が明かす**必勝勉強法**

早稲田 学科ナビ

快適な生活のための  
住宅設計から都市計画まで学ぶ

「**建築学科**」

大学探訪

関西学院大学

「知」の力を磨いた世界市民を育成し  
社会貢献を果たす西日本の名門

時事問題セミナー

北朝鮮核実験問題

2007年

早春号

eisu

# お仕事情報

## 「税理士」

税の専門家として、所得税、相続税などの申告書類を作成することから仕事。最近では書類作成だけでなく企業のコンサルティング業務など、その活動の場が広がっている。



今回の先輩  
落合 孝裕さん  
(横浜国立大学文理学部卒業)

## 「企業の外部ブレン」としての存在

### 最近では経営コンサルティング業務も行う。

税理士という職業は聞いたことがあっても、具体的にどんな仕事をしているのか知らないという人がほとんどではないだろうか。

そこで今回は、東京・世田谷にある落合会計事務所所長の、落合孝裕さんに話を聞いた。

会社にとって、心強い外部ブレンとして仕事をすると、にわかには信じがたい。これを落合さんは心がけているという。

「決算書や試算表など、専門的な書類を一般の人がきちんと理解するのはなかなかむずかしいですね。私たちは専門家なので、専門的な書類をわかりやすく説明して、その会社がどんな状態にあるのか、何が必要なのかを誰にでもわかる言葉で解説し、提案することが大切なのです。私の事務所では、お客様の

ずは税に関する専門的な業務です。会社や個人で事業をされている方、あるいははじくなった方のご遺族が財産を相続されたときなど、所得税や相続税の申告をしなければなりません。その申告書類を作成するのが、私たちの中心の仕事です。最近では、その業務から派生して、こうしたら会社の業績が良くなるための対策など、経営コンサルティング

と、ところへ行って説明する前に、事務所のなかでやり取りをします。そういうことも頻繁に行っています。プロだからこそ、むずかしいことを簡単にのみすいで話さなければなりません」

また、税理士として当然といえば当然だが、計算が速いことも非常に重要だ。「私たちは会社の経営者や経営陣の方と話をすることが多くあります。経営者というのは、大雑把な数字で計算して、大筋を理解するというところに優れた人が多いのです。なので、私

が業務を行うことも増えてきました」

20年、30年前に比べると、税理士の仕事もずいぶんと様変わりしてきている。以前は、税に関する申告書類を作成すること自体がむずかしく、その部分を税理士が担っていたという側面があった。

ところが最近では、財務・税務関連のパソコンソフトも普及しているのでも、書類作成は比較

的簡単になったのだ。そのため、税理士としてもプラスアルファの仕事をしていかなければならぬという実情がある。

やはり、書類を作成するだけでなく、中小企業の社長さんなどに「相談したい」「アドバイスを受けたい」という存在にならなければいけないと思います。会社してみれば、外部ブレンのような存在というわけですね」

資格を持つだけでは就職に有利だろうという考えももっているでしょう。そうやって起業する人もいれば、その人や会社をバックアップする私たちのような仕事もあるのです。税理士を目指すためというより、いろんな方面を見据えて、若いうちから財務に興味を持つことがとても有効だと思っています」



### 試験の合格と職務経験の両方が必要。

税理士になるには、税理士試験に合格する必要があります。そのためにも、まずは受験資格を得なければなりません。受験資格については、国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)にも詳しく載っているので、一度確認してみてもいいだろう。

また、試験の合格に加えて、税理士として登録されるには2年以上の職務経験が必要となる。そのため、税理士事務所などで職務経験を積みながら、試験の合格を目指して勉強しているという人も多い。

### 財務に興味を持つことがいろいろな面で役立つ。

たかも細かい数値を並べ立てるのではなく、テキパキと計算し、話を進めていくことが重要なポイントです」

財務というと専門的でむずかしい、という印象を持っている人も多いだろうが、身近なことでもっと財務に興味を持てる機会が増えてほしいと、落合さんは思っている。

「学園祭で模擬店をやるのだから、財務を体験するいい機会なんですよ。2日間、焼き鳥屋を営みます。5万円を借りて材料を3万円各社入れて、ガス代などの燃料費が1万円、設備代が1万円、そこで売上が10万円ありました。最初に借りた5万円を返すと、残りが5万円、これを働いた人数で割ると一人当たりの収入が出ます。こんなゲームでも、財務について興味を持つきっかけにはなると思います」



1 専門的な内容とできるだけわかりやすく説明する。